

住理事が10月の中国気象学会80周年記念大会（北京）に学会代表として出席し、シンポジウムについて確認した内容を帰国後に報告する。

中国、韓国から10～12名程度を招待する線で人選中、研究機関やプロジェクトの支援を受ける。

学会前日の研究会が開催できないので、当シンポジウムで代替していただきたい。

#### 7. 第33期評議員会の方針と候補者の推薦について

第3回常任理事会で選んだ6名の候補者が報告された。

#### 8. 支部の作業効率化についての照会結果について

各支部から寄せられた報告や意見を整理した資料が提示された。その上で本部事務局から、繰越金の多い支部はアルバイト等の利用を増やしても良いのではないか、また、ホームページを創設する際は既設支部の経緯を参考にしてはどうか、更に、「天気」の「学会だより」などを活用してはどうかなどの提言があった。

支部からは、繰越金は毎年安定したものではないことや、ホームページを作る環境が限られているなどの意見があった。また、事務を行う気象庁職員が業務用パソコンでメールを送信しなくて済むように独自にプロバイダと契約している支部や、ホームページの外注を計画している支部の報告もあった。

当面、各支部の特殊事情を具体的に本部まで提示することと、本部交付金の増額を常任理事会の検討課題としてすることで了解された。経費を減らすためにホームページやメールの利用が有効との認識は共通しており、今後も機会を見て議論を続けることになった。

#### 8. その他

- (1) 京都大学生存圏研究所の発足に関し、全国共同利用施設として文部科学省の予算措置が認められた。これについて津田理事から気象学会のサポートに対する感謝の意が述べられた。
- (2) TRMM衛星の延命に関する気象学会のサポートに対して、中村（健）理事から感謝の意が述べられた。
- (3) 2007年の米国気象学会のレーダ気象会議の日本での開催提案を情報通信研究機構から行ったことが、中村（健）理事から報告された。

平成16年11月15日

社団法人日本気象学会

議長 多田英夫

署名人 板東恭子

署名人 古川武彦

## 2005年度日本気象学会奨励賞受賞候補者の推薦募集

日本気象学会は、研究環境や研究費に恵まれない方々が行う調査や研究を奨励するために、「日本気象学会奨励金」制度を1970年に設けました。その後、実践的な気象教育を進めている方々も奨励するように選考範囲を拡げました。さらに1998年には、「奨励金」を表彰に重点を移した「奨励賞」と改め、引き続き毎回3件程度の表彰をしております。

奨励賞受賞候補者推薦委員会は、受賞者選定規定に基づいて、候補者を理事会に推薦します。つきましては、広く候補者を募集しますので、次の要領によって2005年度の受賞候補者をご推薦下さい。自薦も歓迎します。なお、日本地学教育学会にも推薦募集案内の通知を依頼しています。

2004年12月

### 記

締切：2005年2月28日（月）

送付先：〒100-0004東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内日本気象学会事務局気付

奨励賞受賞候補者推薦委員会

用紙：A4判縦、横書き

推薦書および添付資料

1. 研究題目（推薦対象となる研究調査または教育活動の内容を簡潔に示すもの）
2. 受賞候補者氏名(ふりがな)、所属、連絡先、略歴（グループとしての活動も可）
3. 推薦者氏名、所属、連絡先
4. 推荐理由（1500字以内）  
受賞候補者の研究環境（指導者、研究時間、研究費等）について触れる。

“天気” 51. 12.

## 5. 研究成果の概要 (1500字以内)

## 6. 参考資料

これまでの調査・研究・実践の経歴を示す資料のリストと、主要な文献（最大10編程度）の別刷・コピー。

## 募集概要

1. 気象学・気象技術に関するテーマについての研究・調査、および初等・中等教育等における気象教育の実践、教材の開発などの実践的な教育普及活動を対象とする（研究としての完成度の高さは必要条件ではない）。
2. 候補者は研究環境（指導者、研究時間、研究費）に恵まれていないことが条件である。従って、大学あるいは研究機関に勤務または在学し、経常あるいは特別研究費の配分を受けて気象学の研究に従事する者は、原則として奨励賞の対象外である。なお候補者は気象学会員である必要はない。
3. 選考にあたっては、過去の調査・研究・実践の経歴が豊富なことを重視する。関連学会、関連研究会、関連機関の調査研究会等に発表または投稿がなされていることは、業績を評価するための材料として考慮する。
4. 2005年度の奨励賞贈呈は、秋季大会（神戸、11月20～22日予定）で行う。

## 1998年度までの「奨励金」受領者

- (70)長野美文、久保田 効
- (71)山川 弘、竹内丑雄
- (72)杉山清春、竹内 新、地迫良一、深津 林、清水喜允
- (73)加藤一靖、小岩清水、村松照男
- (74)矢野兼三、内山文夫、櫃間道夫
- (75)岸田和博、鈴木和史
- (76)山田幹夫、力武恒雄、松村三佐男
- (77)小形 明、宮川和夫、永沢義嗣、佐々木芳春
- (78)島村泰正、伊豆味正吉、春日 信、浦野 弘
- (79)木村 悠、坂上公平、小柴 厚

(80)山中 博、若原勝二、中井公太、横山 博

- (81)細野正俊、西本洋相
- (82)西田耕造、山内博行、原嶋宏昌
- (83)田頭正広、渡部浩章、鈴木欣也、丹 英二、長島 真

- (84)平 隆介、加藤敏彦、柴山元彦
- (85)中田隆一、水野 量、名越利幸
- (86)大奈 健、江上 公、半田 孝、瀧島幸市
- (87)入田 央、三品 博、榎原保志
- (88)大野木和敏、銘苅真正、金城勝重、橋本雅巳
- (89)松本崇司、松田耕治、塩澤定道、有賀公平、西銘宣正
- (90)横田寛伸、松村 哲
- (91)楳野泰夫、浅野浅春、岡田哲也、居島 修
- (92)中田裕一、川野 浩、今 勝義
- (93)木俣昌久、吉田洋一、下畠五夫、植田 隆、古川善朗
- (94)前田 宏、石原昭史、裏川一雄
- (95)小沢英司、河合宏一、中吉一行、西岡佐喜子
- (96)四宮茂晴、大鹿清司
- (97)山下龍平、花宮廣務
- (98)上田崇裕、金森恒雄、坪田幸政

## 2004年度までの「奨励賞」受賞者

- (99)須田卓夫、松浦健次
- (00)加藤 廣、黒良龍太
- (01)出口 一、大久保 篤、加治屋秋実
- (02)大沼啓人、上口弘晃、平松和彦、森岩 聰
- (03)高田伸一、中山 寛、渡邊真二
- (04)中村直治、箕輪敏行

## 日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦委員会

- 担当理事：藤部文昭、坪田幸政、菊池 正、栗原弘一、中村和信、藤村弘志、磯部英彦、米谷恒春  
 委 員：岩嶋樹也、高橋忠司、田代誠司、原 昌弘